

一級河川・紀の川流域に位置する紀の川市は、豊かな大地と穏やかな気候に恵まれた県内屈指のフルーツ王国です。

トップブランドの「あら川の桃」をはじめ、全国1位の生産量を誇る八朔・無花果など、質の高さ、味の良さでも人気です。

この時期は、いちご狩りを楽しむ観光客で賑わいます。

また、西国三十三所の中で最大級の本堂がある粉河寺、ハイキングに最適な百合山や龍門山など、これからの季節に訪れたくなる見どころがたくさんあります。



甘い香りが春の訪れを感じさせるワン！

貴志川観光いちご狩り協会 こだわりの栽培方法で育てられた大粒の苺は、香りいっぱいでもとろけるような甘さが広がります。

寒暖差のあるこの地域で育つ苺はとにかく甘くて美味しい！まりひめなど全4品種の苺を楽しむことができますので、フレッシュな苺の味覚を思う存分に味わいに来てください。

貴志川観光いちご狩り協会 小日向 浩さん



粉河寺 西国三十三所観音霊場第三番札所として、現在も多くの巡礼者が訪れています。

お問い合わせは  
紀の川市観光振興課  
☎ 0736-77-2511



和歌山県PRキャラクター「きいちちゃん」の「わかやまさんぽ」が紹介！



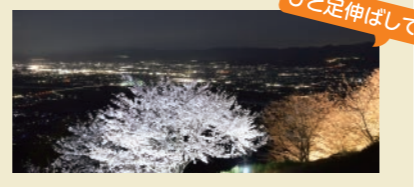
サイクリング 紀の川市は比較的勾配が緩やかな道が多く、美しい景色を眺めながらサイクリングを楽しめます。

レンタサイクルの貸出しも充実。詳しくは紀の川フルーツ観光局のWEBサイトをチェック。



### 紀の川市のええもん

桜の開花時期に合わせて行われる百合山 最初力峰のライトアップ。この季節ならではの絶景を味わってみてはいかがでしょうか。



ひと足伸ばして



どの季節に訪れても旬のフルーツに出会えるフルーツ王国・紀の川市。この時期は八朔・キウイ・苺が楽しめる。

## ご存知ですか??

# マイナンバーカードが健康保険証として利用できます!

マイナンバーカードが今月から健康保険証としても利用できるようになりました。

未取得の方にはQRコード付きの申請書が郵送されていますので、この機会に申請してはいかがでしょうか。

※一部の証明用写真機でも申請できます。



問 県庁市町村課  
☎073-441-2192  
お住まいの市町村

## マイナンバーカードの申請方法

交付申請書をお持ちの方は、以下3つの方法から申請できます!

スマートフォン	パソコン	郵便
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 スマホで顔写真を撮影</li> <li>2 スマホで交付申請書のQRコードを読み取る</li> <li>3 申請用WEBサイトでメールアドレスを登録</li> <li>4 申請者専用WEBサイトのURLが届いたら、顔写真を登録、必要事項を入力して申請完了</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 カメラで顔写真を撮影</li> <li>2 申請用WEBサイトでメールアドレスを登録</li> <li>3 申請者専用WEBサイトのURLが届いたら、顔写真を登録、必要事項を入力して申請完了</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 交付申請書に必要な事項を記入し、6カ月以内に撮影した顔写真を貼り付けて郵送し、申請完了</li> </ol>

交付申請書をお持ちでない方は、[マイナンバーカード 郵便](#)

- 1 専用サイトから手書き用の交付申請書と封筒をダウンロードすれば、郵便で申請ができます! プリントアウトしてご利用ください。  
※手書き用の交付申請書には、顔写真の貼付とマイナンバーの記入が必要です。
- 2 市区町村の窓口でも、交付申請書を再発行しています。本人確認書類(運転免許証、パスポート等)を持参の上、お住まいの市区町村へ行きましょう。



## 人権連載 心の気づき

### 共生社会の実現に向けて

問 県庁国際課 ☎073-441-2055

近年、日本では外国人労働者の受入が進められていることもあり、在住外国人の数は年々増加しています。現在、新型コロナウイルス感染症の影響により、海外からの入国は制限されているものの、今後、私たちが外国人と接する機会が増えてくると思われます。

私たちは日頃、外国人に対して、言葉、文化、宗教、生活習慣が違ふことで、無意識のうちに偏見や先入観を持っているのではないだろうか。

特定の国の出身の人々を、その出身であることのみを理由に一方的に我が国の社会から追い出そうとしたり、一方的に危害を加えようとしたりする言動は、ヘイトスピーチと呼ばれる許されない差別行為です。また、直接的な差別とまでは言えない言動であっても、外国人だからこうだろうといった偏見や先入観が、相手を傷つけてしまうこともあります。

このような偏見や先入観をなくし、互いに尊重しあうことが、共に生きる社会の実現のために重要です。